

原発賠償、東電基準超す和解

2016年9月3日05時00分

東京電力福島第一原発近くに工場がある農薬メーカー「アグロカネショウ」（東京都港区）が、原発事故で工場の土地の価値が失われたとして東電に約1億5400万円の損害賠償を求めた訴訟は2日、東京地裁（東亜由美裁判長）で和解が成立した。アグロ社の代理人弁護士によると、東電が提示した額を上回る約1億3800万円を支払う内容。

アグロ社側によると、東電は当初、「固定資産税評価額の1.43倍」を基準に土地の価値を算出。だが裁判所が職権で行った鑑定で、事故前の土地の価値が東電の基準より高く評価された。

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.